

# 北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 6号 (通巻 No.170)

2004年 7月 2日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道西日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/24~7/1 の調査)

分布密度は沿岸で高く, 魚体サイズは前年より小型

スルメイカの分布密度と大きさ

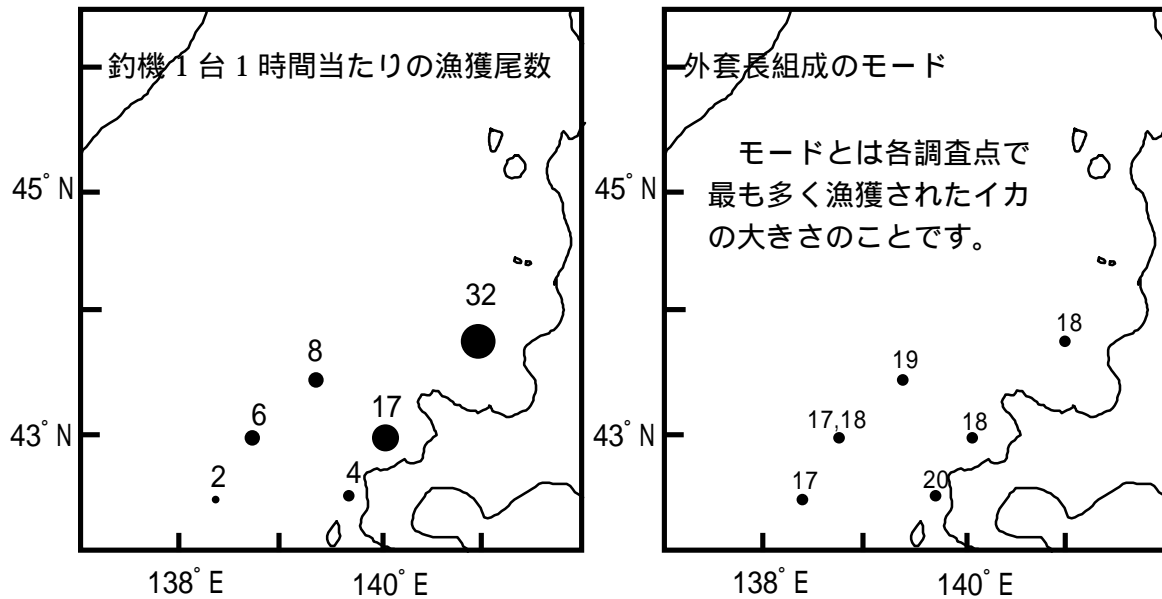


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 2~32 で, 雄冬沖が 32 と最も高くなっていました (図 1 左側)。平均 CPUE は 11 と前年より少し高くなっていました (図 2)。

スルメイカの大きさは, 分布密度の高い岩内・雄冬沖でモード 18cm (図 1 右側), 調査海域全体でも 17~18cm の割合が高く, 前年 (2003 年) よりも小さいイカが多くなっていました (図 3)。

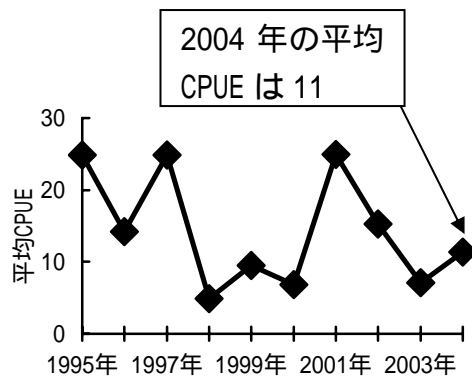
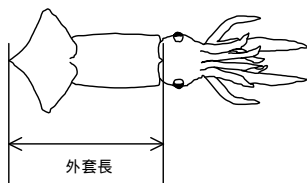


図 2 平均 CPUE の経年変化



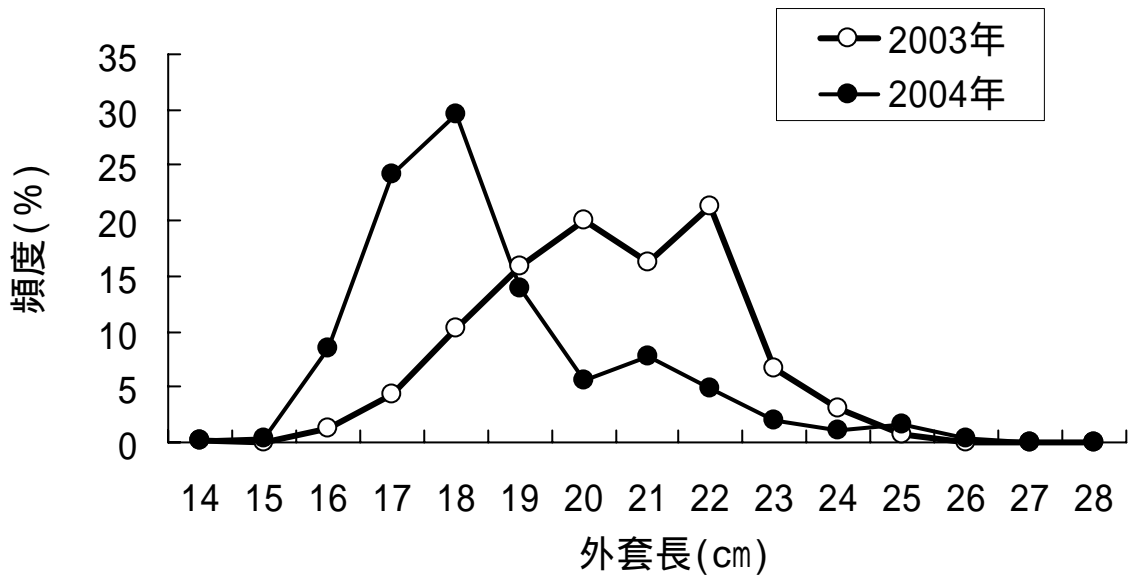


図3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の50m深水温は、3~12台でした。沖合で冷たく沿岸で暖かい例年の傾向がみられましたが、沿岸域は11台と昨年より2程度高くなっていました(図4)。

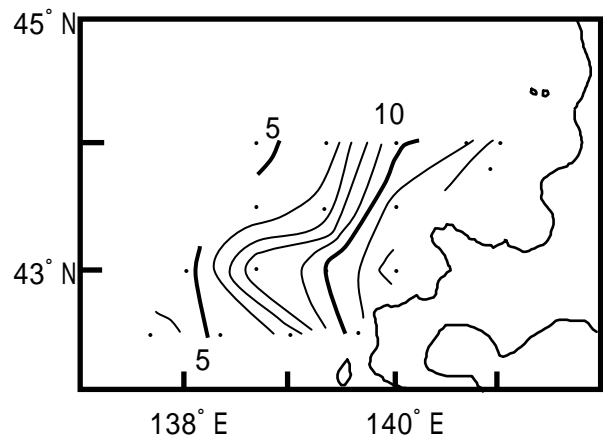


図4 6月下旬の50m深水温分布

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)